

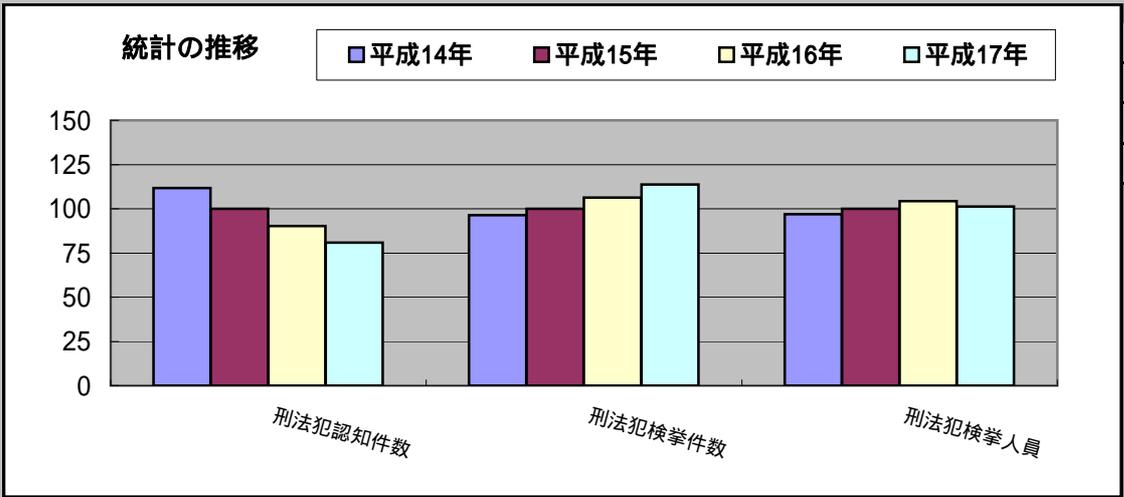
【所属】 捜査第一課 等 【コード】 25

業務名 犯罪捜査活動の推進

業務に関する統計

項 目	統 計 の 推 移				単 位
	平成14年	平成15年	平成16年	平成17年	
刑法犯認知件数	47,600	42,587	38,455	34,457	件
刑法犯検挙件数	8,057	8,361	8,896	9,502	件
刑法犯検挙人員	4,203	4,338	4,529	4,390	人
刑法犯検挙率	16.9	19.6	23.1	27.6	%
重要犯罪 ⁽¹⁾ 検挙率	46.1	47.7	44.2	47.5	%
重要窃盗犯 ⁽²⁾ 検挙率	19.3	23.4	32.8	59.5	%

1 「重要犯罪」とは、殺人・強盗・放火・強姦・略取誘拐・強制わいせつをいう。
 2 「重要窃盗犯」とは、侵入盗・自動車盗・ひったくり・すりをいう。



< グラフは、平成15年を100とする指数で表した。 >

業務の主なコスト

	事 業 名	平成17年度事業費(千円)	平成18年度事業費(千円)
1	刑事警察費	39,576	45,740
2	刑事警察活動推進費	2,405	2,401
3	広域重要事件対策費	40,226	27,900
4	広域環境犯罪スーパープロジェクト	32,094	44,208
5	鑑識警察費	22,234	24,083
6	鑑識活動推進費	832	838
7	科学捜査活動推進費	63,025	63,094
8	写真中央処理器整備費	7,582	6,893
9	科学捜査器材等整備費	21,412	31,119
10	地域安全総合対策緊急事業	8,644	
	合 計	238,030	246,276

平成 17 年の取組み

平成17年中の刑法犯認知件数は、34,457件（前年比 - 3,998件）で、平成14年をピークに3年連続で減少し、刑法犯検挙率は27.6%と前年を4.5ポイント上回るなど、犯罪捜査活動等の推進により着実な成果が上がった。

初動捜査及び聞き込み捜査等、基礎捜査を徹底するなどして殺人事件、強盗事件、放火事件等の重要犯罪を検挙した。

重要窃盗犯の検挙向上に向け、組織窃盗犯罪対策と窃盗常習者対策を捜査の両輪として、他県警察との合同捜査等を推進した結果、暴力団幹部等による広域窃盗（金庫破り）事件のほか、窃盗常習者による北・中・南勢方面における連続空き巣事件等を検挙した。

県民に多大な被害と不安を与えている「振り込め詐欺」事件に対する捜査を徹底し、首都圏を拠点とするグループによる広域多額の「オレオレ詐欺」事件を検挙した。

三重県警察が開発した指紋採取技術パール法の活用により、現場指紋の積極的な検出、迅速な各種システムの照会を図り、重要犯罪、重要窃盗犯等の検挙向上を図った。

火災、交通事故現場等へ早期に臨場し、現場鑑定を実施して原因究明に努めるなど科学捜査力の推進を図った。また、鑑定技術・知識の向上を図るため、鑑定職員を各種学会、研修会や民間企業に派遣して先進技術の習得に努めた。

課題と平成 18 年の取組み

刑法犯検挙率は前年を上回ったものの、全国平均を1.0ポイント下回っていることから、更なる検挙率の向上を目指し、捜査支援システムや装備資機材の有効活用と整備充実を図るとともに、業務の合理化、効率化により、現場警察力の一層の強化に努める。

平成17年中の重要犯罪検挙率は47.5%と前年より3.5ポイント上回っているものの、強盗、放火、強制わいせつ事件等が多発しており、依然として県民の不安を解消するまでに至っていない状況である。このため、事件認知時における迅速的確な初動捜査や聞き込みなどの基礎捜査を徹底するとともに、必要により共（合）同捜査を推進して検挙向上に努める。

平成17年中の重要窃盗犯検挙率は59.5%と前年より26.7ポイント上回り大きく向上したが、依然として組織窃盗グループや窃盗常習者の犯行と認められる空き巣、事務所荒らし等の事件が発生していることから、窃盗常習者に対する基礎捜査を実施するとともに、他県との共（合）同捜査を積極的に行うなどして重要窃盗犯の検挙向上に努める。

平成17年中の「振り込め詐欺」の認知件数は、いわゆる「オレオレ詐欺」と「架空請求詐欺」がやや減少しているものの、「融資保証金詐欺」の増加など、依然として後を絶たない状況にある。このため、実行犯の検挙はもとより、預金口座や携帯電話の不正取得等、その犯行を助長する行為について、各種法令を駆使した摘発・検挙の一層の推進を図る。

鑑識技術・資機材を効果的に活用した緻密な現場鑑識活動を実施するとともに、公判前整理手続きを踏まえた立証に配慮した各種資料の採取に努める。また、指紋自動識別システム等の効果的な運用を図るため、データベースの拡充に努め、鑑識システムを活用した迅速な鑑定を実施し、重要犯罪、重要窃盗犯等の早期解決を図る。

複雑、多岐にわたる事件の鑑定に的確に対応するため、引き続き、各種研修会等への積極的な参加により鑑定技術、知識の向上を図るとともに、鑑定資機材の整備を行うなど科学捜査力の向上に努める。